キャラクター名: 桜 梅子

プレイヤー名:

シンドローム	モルフェウス キュマイラ	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	ぴちぴちの女子しぶちょ□
オプショナル		年齢	体11歳/頭???歳	性別	女の子
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	34 %
出自	名家の生まれ	経験	禁断の愛	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0			5
感覚	2	0	0			2
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	31
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：	5		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
剛剣武者ーKyokuzamuraiー		0				ヴィーグルモーフィング 完全獣化 ハンティングスタイル ターゲットロック

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
日本刀(霊刀 笹華貫)	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
神城	P 有為	N 不安		
両親	P 誠意	N 嫌気		
桜 一葉(さくら かずは)	P 尽力	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
完全獣化	3	6	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	―	
効果：	【肉体】判定ダイス＋Lv＋2個							
ヴィーグルモーフィング	3	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	―	
効果：	専用アイテム一つ使用(EA P140)							
巨匠の記憶	4	2	ﾒｼﾞｬｰ	―	―	―	―	
効果：	判定ダイス＋Lv個							
コンセントレイト	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	―	―	―	―	
効果：	C値ーLv							
ハンティングスタイル	1	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	―	
効果：	戦闘移動する 離脱可 他ｴﾝｹﾞｰｼﾞの接触、封鎖の影響無し ｼｰﾝLv回							
ﾃｸｽﾁｬｰﾁｪﾝｼﾞ	1							
効果：	「ふふっこの簪はな、とおーい昔にじいさんがくれた大切なものなのじゃ。ほれほれ、かわええじゃろかわええじゃろっ？」							
超人的代謝	1							
効果：	「ぷはぁ～たくさん食べた！む、饅頭じゃなくて本当に怖いもの？そうじゃのう…わっちはお茶が怖いわい」							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

さくら うめこ

古代種のレネゲイドウイルスを持っていてもう百年以上は生きている。でも見た目はいつまでもロリ。
一人称「わっち」二人称「そち」「うぬ」語尾に「～じゃろ」「～のう」と話し方は普通にBBA
のほほんとした雰囲気でのんびりしてる。お茶目さん。和菓子とお抹茶と日本酒が大好き。

戦うときは髪にさしてある簪を引き抜き同時に日本刀(「霊刀 笹華貫」れいとう ささかぬき)に変形！(イージーエフェクト、テクスチャーチェンジ)
それを地面に突き立ててレネゲイドを地面に流し込みそこの土やコンクリートでできた巨人を作り出す！ゴーレムクリエイトだ！(ヴィーグルカーと言い張る)
それを操ったり乗っかったりしてその大きな体を使って戦うぞ！がんばれ！ロリ！！

なんとな～く過去↓
無駄に長いよ！
※PLは日本史ファンブルしております。色々とおかしいところあると思いますがご了承下さい。

生まれたのは江戸初期くらい。武士のおうちに生まれたいわゆる上流階級のお嬢様だったが厳しい両親に自由を奪われ毎日退屈でつまんない日々を過ごしていた
。大変べっぴんさんだったため、14ですぐに嫁ぎ先が決まる。親に決められた人と結婚なんてしたくなかったが女一人の力じゃどうにもならなかった。
しかし結婚前夜、一月ほど前に町にふらりと現れたちょっと浮いてる変わり者、桜 一葉(さくら
かずは)に求婚される。熱烈にプロポーズされ梅子もそのまんま惚れてしまい、二人で夜中に町を飛びだす。
しかし彼が腰にひっさげていた不思議な刀、霊刀